



World Autism Awareness Day
世界自閉症啓発デー2020
「ようこそ自閉症ワールドへ」第二弾

～尊い個性を愛するために～

第18回
ジェイミーのコンサート
Jamie's Concerts

ピアニスト小川典子が自閉症者とそのご家族に贈る特別なひととき

みんなにやさしさとどけます

こちよいピアノのねいろで

世界最高峰のクラリネット奏者
マイケル・コリンズ
© Benjamin Falsovega

小川典子（ピアノ）
© 武藤 章

2020.6.18(木) ミューザ川崎シンフォニーホール
4F 市民交流室 (JR川崎駅中央西口直結)

10:30 開場・11:00 開演・12:15 茶話会開始予定・13:00 茶話会終了予定
入場料: ¥3,500 (全席自由)

英国直輸入のビスケット&紅茶付き ※どなたでもご入場いただけます。(小学生以上)
※未就学のお子様の入場はご遠慮下さい。

プログラム

第1部[特別講演]：明石洋子(一般社団法人 川崎市自閉症協会代表理事)

第2部：世界最高峰のクラリネット奏者が登場！
マイケル・コリンズ&小川典子によるデュオ

ドビュッシー：クラリネットのための第1狂詩曲
 サン＝サーンス：クラリネット・ソナタ 変ホ長調 作品167
 ドビュッシー：レントより遅く(ピアノ・ソロ)

プーランク：クラリネット・ソナタ
 ピエルネ：カンツォネッタ 作品19
 メサジェ：ソロ・ド・コンクール(コンクールの独奏曲)

「特別展示」心画 | 瀬崎竜彦：自閉症畫家による、感動的な作品を展示いたします

このコンサートは自閉症や障がいをお持ちの方と暮らすご家族、介護などで演奏会へお出掛けが難しい方々のために、就学やデイケアの時間内に最高級の音楽をご堪能いただけるよう企画しています。どなたさまのご来場も大歓迎です。今回は、世界で誉れ高いクラリネット奏者マイケル・コリンズを迎え、豪華フランス・プログラムをお届けいたします。日本製のクラリネットから繰り出される柔らかな音色、超絶の指さばき、自然な呼吸技術を間近にお楽しみください。マイケルと私は30年以上の共演経験があり、あうんの呼吸。CD録音でも共演しています。演奏後はイギリス直輸入のピスケットと紅茶で談話会。気さくなマイケルと楽しい時間を一緒にしましょう。 小川典子

チケット発売日 2020年 **1月15日(水)**

アーツ・アイランド.....電話 03-6914-0353 (平日10:00~17:00)
 FAX 03-6914-0586 (24時間受付)

ミュージア川崎電話 044-520-0200 (10:00~18:00)
シンフォニーホールチケットカウンター (10:00~19:00)
.....ミュージアWebチケット <http://muza.pia.jp>
.....(24時間、発売初日は10:00~、火・水2:30~5:30を除く)
チケットびあ一般音声認識対応 0570-02-9999 (コード:171-565)
24時間・発売初日は10:00~インターネット受付対応 <http://pia.jp>

[illegible]

チケッtpぴあ

24時間、発売初日は10:00～、
小・中2:30～5:30を除く

主催：ジェイミーのコンサート事務局
共催：（一社）川崎市自閉症協会／ ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）
後援：川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会



第18回ジェイミーのコンサート



ジェイミーのコンサートとは

デビュー当時、ロンドンの下宿先で重度自閉症児であるジェイミーとともに暮らしたピアニストの小川典子。対応の難しい障がいだけに、直接ジェイミーに触れて動揺させてしまうより、彼が信頼を寄せる母ジャニスをサポートすることの大切さに気づいたといえます。こうした経験から自閉症者と介助者の方々の支援をライフワークとし、彼らのために演奏会「ジェイミーのコンサート」を2004年より開催。日本と英国で一流音楽家による本格的なプログラムを提供しています。2014年、英国NAS自閉症協会がその活動を称え、NAS自閉症協会文化大使に任命。日英両国で多くの賛同者を得て発展を続けています。英ギルドホール音楽院学術研究対象演奏会。 <http://jamiesconcerts.com/>

あなたのジェイミーは…？

ロンドンのジェイミーは演奏家の両親を持ちながら音楽は人の苦手。
でも、音楽が大好きな自閉症の方もいますよね。あなたのジェイミーはどちらのタイプでしょう？
もし音楽がお好きなら、ぜひご来場ください。

出演者プロフィール



明石 洋子(一般社団法人 川崎市自閉症協会代表理事)
Yoko Akashi, Chairman of Autistic Society of Kawasaki City

薬剤師。社会福祉士。社会福祉法人あおぞら共生会副理事長。一般社団法人川崎市自閉症協会代表理事(川崎市自閉症児者親の会会長)。NPOかわさき障がい者権利擁護センター理事長。その他、他法人の理事、評議員、川崎市の委員多数。長男徹之氏は、川崎市の職員(平成5年7月〜)。長男が知的障害がある自閉症(発達障害)の為、「地域で生きる」をモットーに市民活動を40年以上実践。川崎市長賞、厚生労働大臣賞、糸賀一雄記念賞等受賞。著書に「ありのままの子育て」「自立への子育て」「お仕事ががんばります(ぶどう社)」「思いを育てる、自立を助ける」(本の種出版)、その他学会学術誌や週刊誌等にも多数登場。



マイケル・コリンズ(クラリネット)
Michael Collins, Clarinet

“コリンズの滾るほどに熱い演奏と指揮。これに匹敵する体験を他に持ち得ていない”(グラモフォン誌) 英国を代表するクラリネット奏者。この数シーズンに限っても、ミネソタ管、スウェーデン室内管、ライン州立フィル、京都市響、クオビオ響、メキシコ国立響、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズなどと共演。指揮者としてもBBC響、フィルハーモニア管、メルボルン響、イギリス室内管、チューリッヒ室内管などと共演。10〜18年、シンフォニア・オブ・ロンドンの首席指揮者。19/20、ウィグモア・ホール・レジデント・アーティストをつとめた。グラミー受賞作品を含み、ドイツ・グラモフォン、デッカ、EMI、ソニーなどから多くのCDがリリースされている。15年、大英帝国勲章が授与された。



小川 典子(ピアノ)
Noriko Ogawa, Piano

川崎市生まれ。リーズ国際ピアノコンクール第三位入賞。英国と日本を拠点に世界各国で演奏活動。英国ギルドホール音楽院教授、東京音楽大学特任教授、ミュゼ川崎シンフォニーホールアドバイザー、ジェイミーのコンサート主宰、NAS英国自閉症協会文化大使、浜松国際ピアノコンクール審査委員長、国際音楽コンクール世界連盟役員理事、ギルドホール音楽院フェロー称号・芸術選奨新人賞・川崎市文化賞受賞。エッセイ集「夢はピアノとともに」、訳書「静けさの中から〜ピアニストの四季」。
<http://www.norikoogawa.com/>

The 18th Jamie's Concert

Thu. June 18, 2020

Doors open: 10:30, Lecture and Concert: 11:00-12:10, Tea Party: 12:15-13:00

Venue: MUZA Kawasaki Symphony Hall 4th Floor, Assembly Room

Tickets: 3500 yen (Non-reserved seats) First year at Primary School and up

[Programme]

Lecture by Yoko Akashi (Chairman of Autistic Society of Kawasaki City)

World-renowned clarinetist Michael Collins and Noriko Ogawa Duo Concert

Debussy: Première Rhapsodie

Saint-Saëns: Clarinet Sonata in E-flat major, Op. 167

Debussy: La plus que lente (Solo piano)

Poulenc: Clarinet Sonata FP 184

Pienné Canzonetta Op. 19

Messager: Solo de concours

Exhibition by Tatsuhiro Sezaki, Calligrapher

